

JSEPTIC-CTG 活動報告

「JSEPTIC-BW  
ICU における体重測定の意味」  
経緯と今後

---

# 研究の背景

---

多くの集中治療室では、体重測定を実施している。

しかし、人的、時間的な負担も大きく、患者を不安定な状態に曝し、ライン類の誤抜去の危険がある。

測定した体重結果が正確で、医師の診療や看護実践に活かされ、患者にとって真に有益であるかは明らかにされていない。

# 目的

---

集中治療室における体重測定の実態を把握し、今後の研究の基礎情報とする目的にアンケート調査を実施した。今回はその安全性について焦点を当て、検討した。

## § 研究目的

「我が国の集中治療室における  
体重測定の安全性を検討する」

# 研究方法

---

- § 対象；郵送またはMLで呼びかけた  
急性・重症患者看護専門看護師  
集中ケア認定看護師  
救急看護認定看護師  
合計 1,320名
- § 方法；郵送回答またはweb上の  
合計21問からなるアンケート調査
- § 研究期間；2012年2月3日～3月6日

# 結果 1

---

アンケート回答数525名

アンケート回収率39.7%

内訳

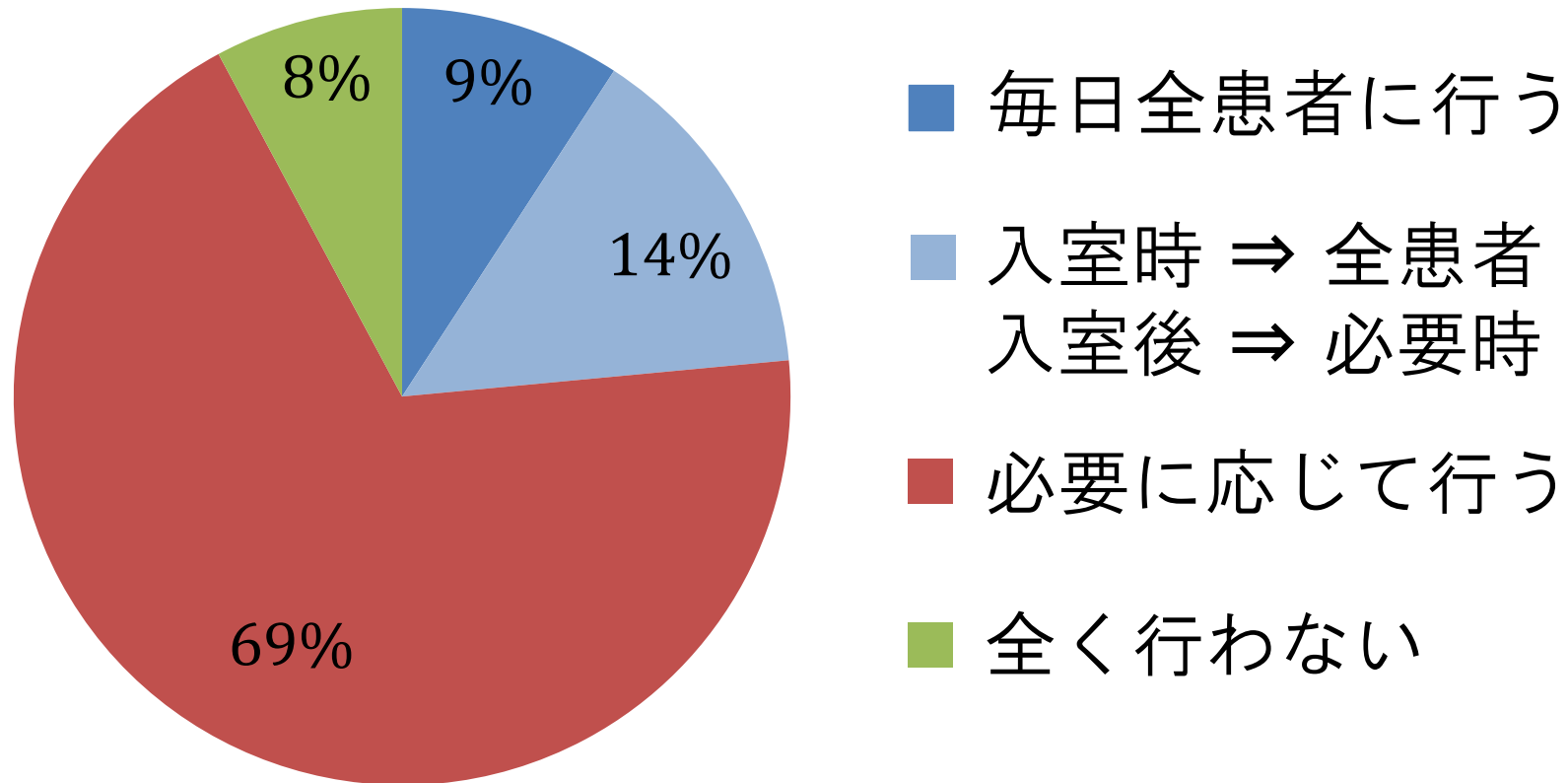
急性・重症患者看護専門看護師7%

集中ケア認定看護師61%

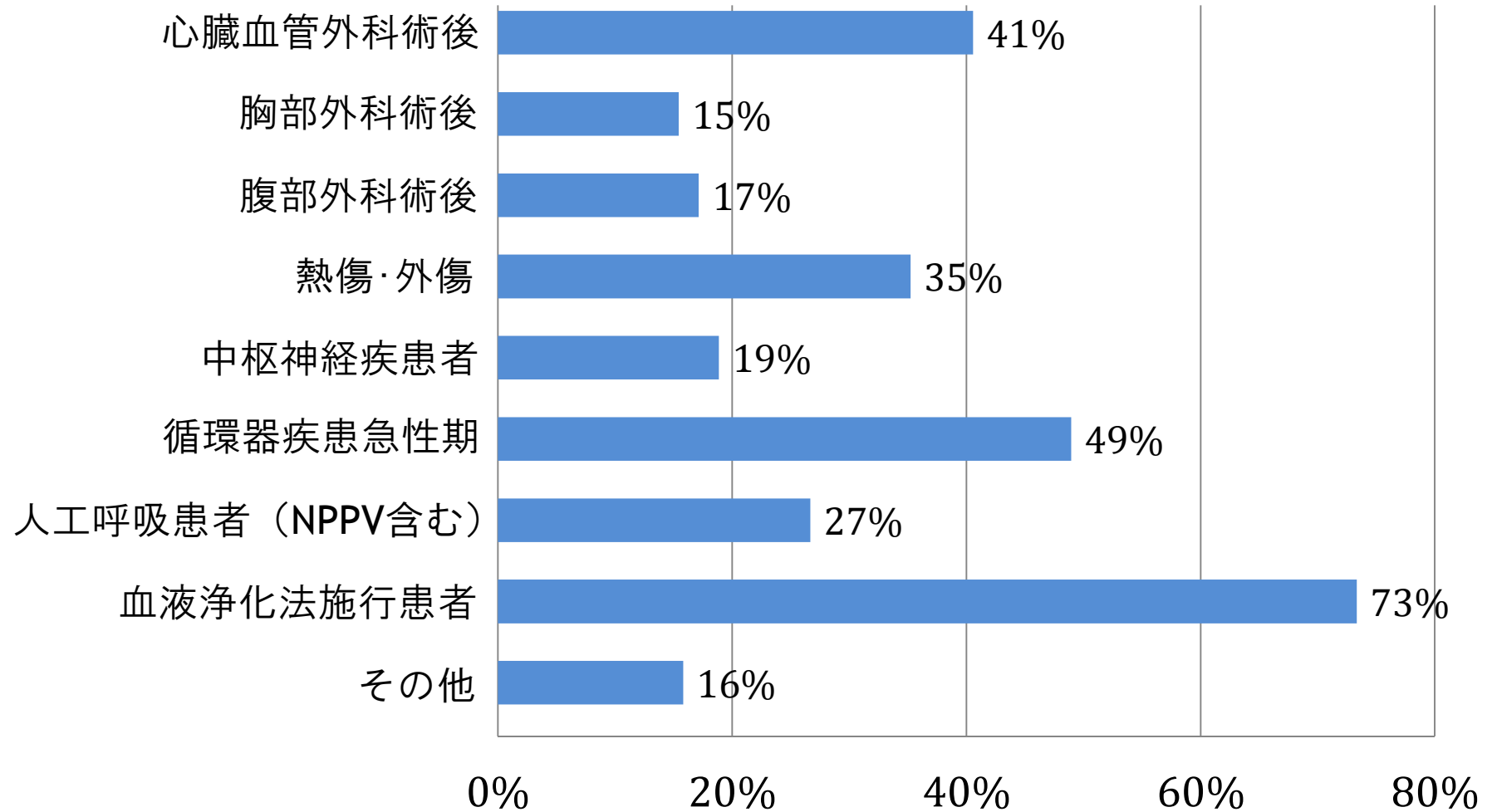
救急看護認定看護師32%

## 結果 2 ; 体重測定間隔

---

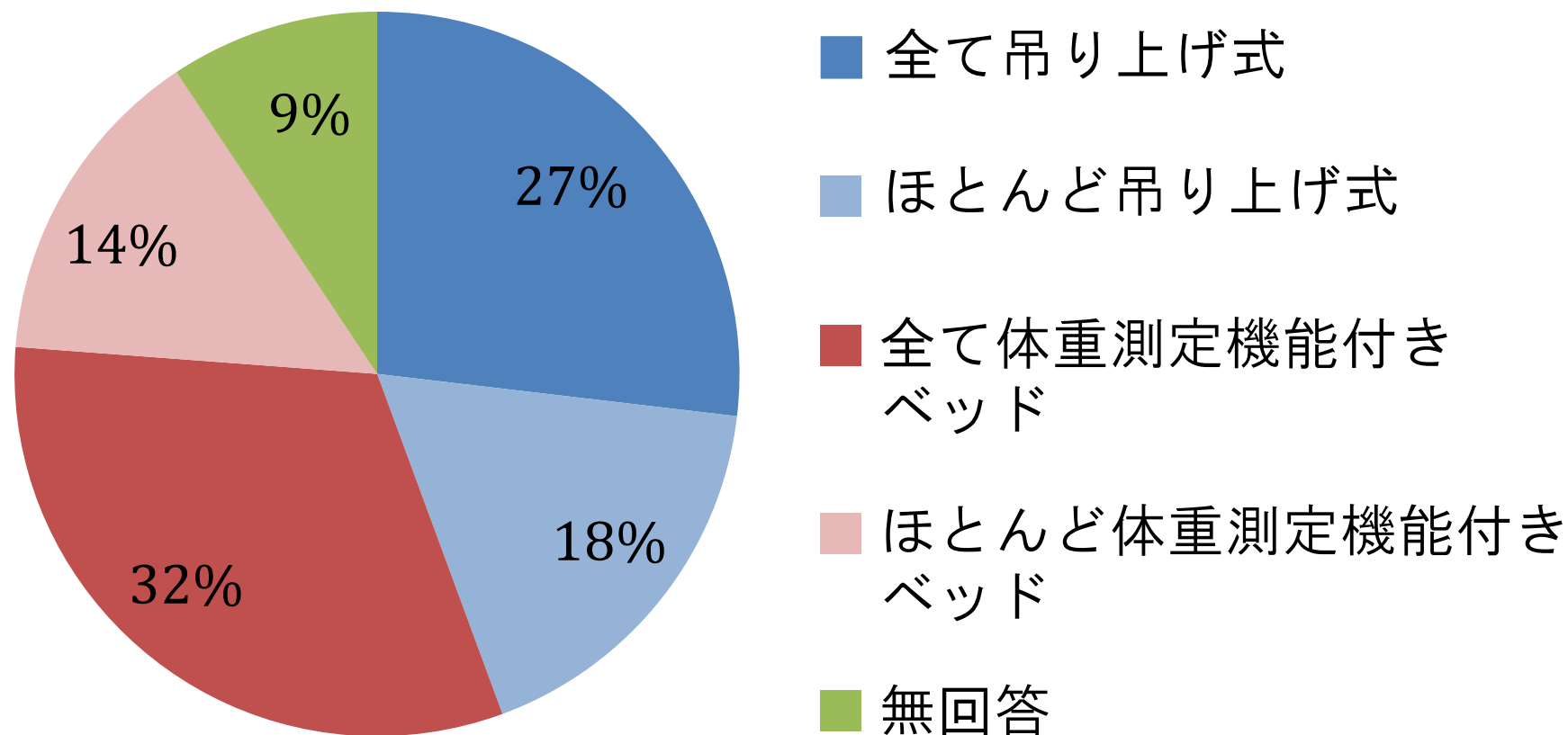


# 結果 3 ; 適応



## 結果 4； 体重測定方法 吊上げ式体重計 VS. 体重測定機能付きベッド

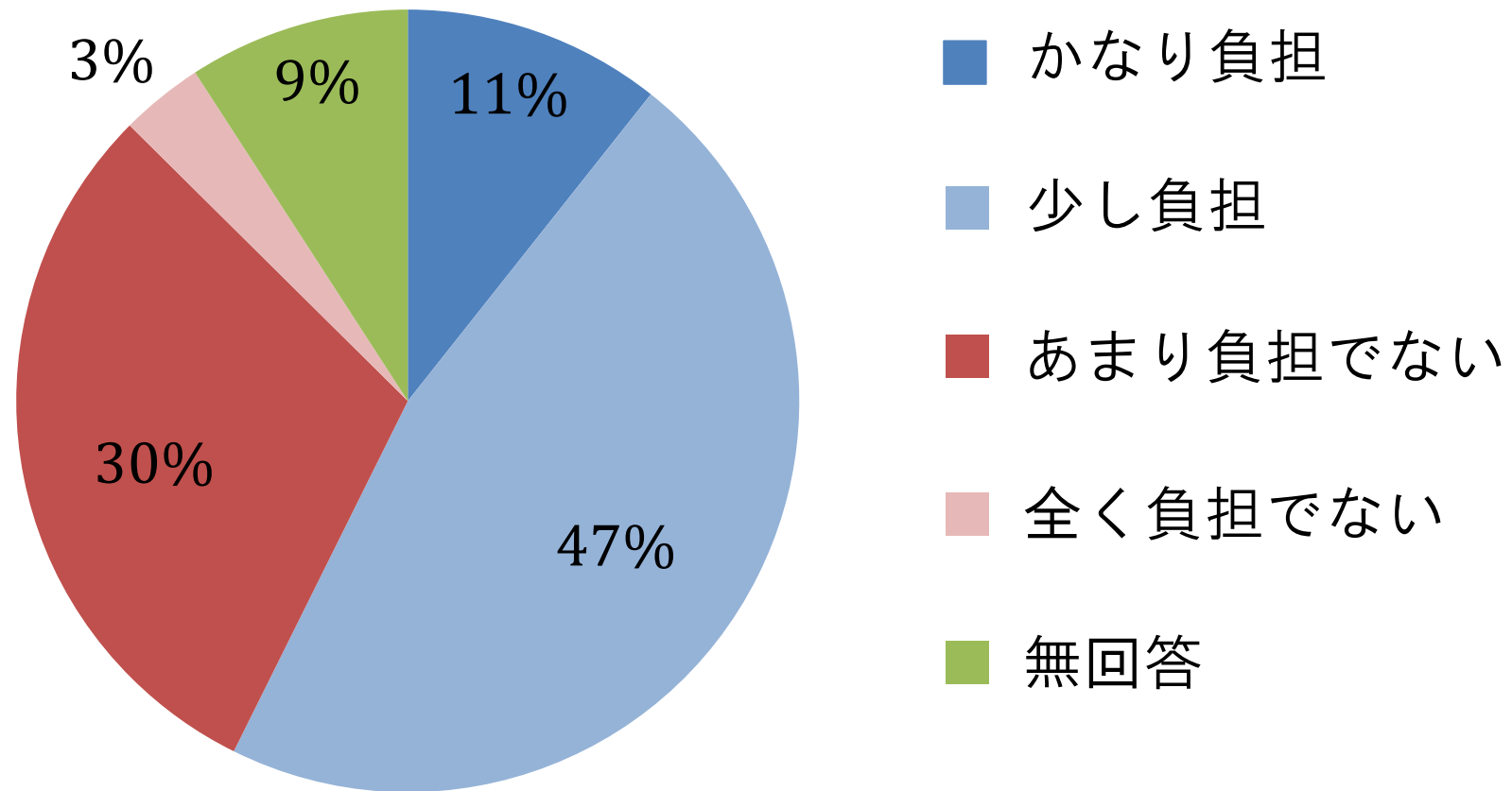
---





## 結果 5 ; 体重測定に伴う看護師の負担感

---



## 結果6；測定方法の相違による 看護師の負担の有無

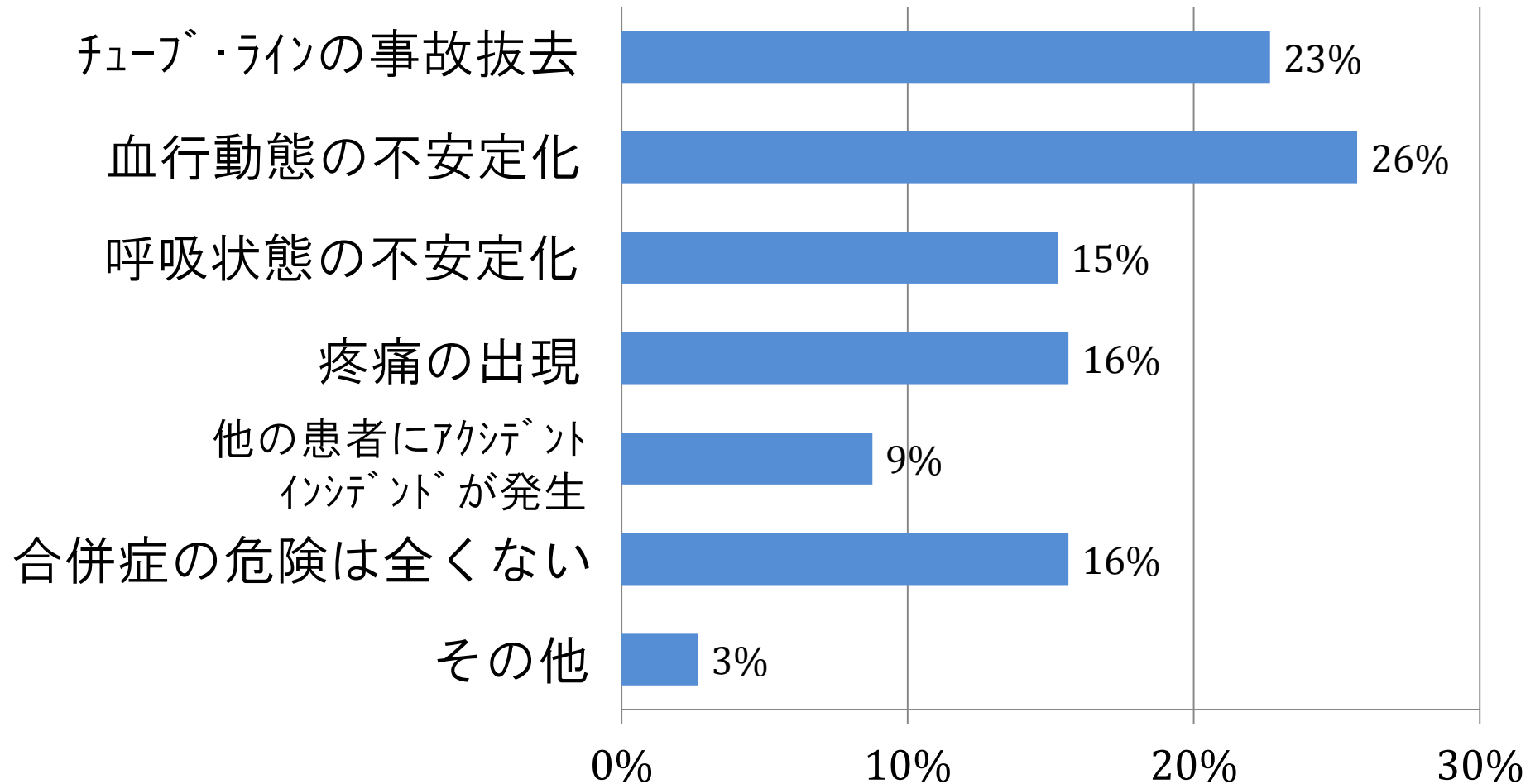
	負担あり	負担なし
吊り上げ式 体重計	180	52
体重測定 機能付きベッド	121	121

オッズ比3.462

95信頼区間2.326-5.51

$\chi^2=38.891$   $p=0.000$

# 結果 7 ; 経験した合併症



## 結果 8 ; 体重測定によるその他合併症

---

### 1. 患者の落下事故

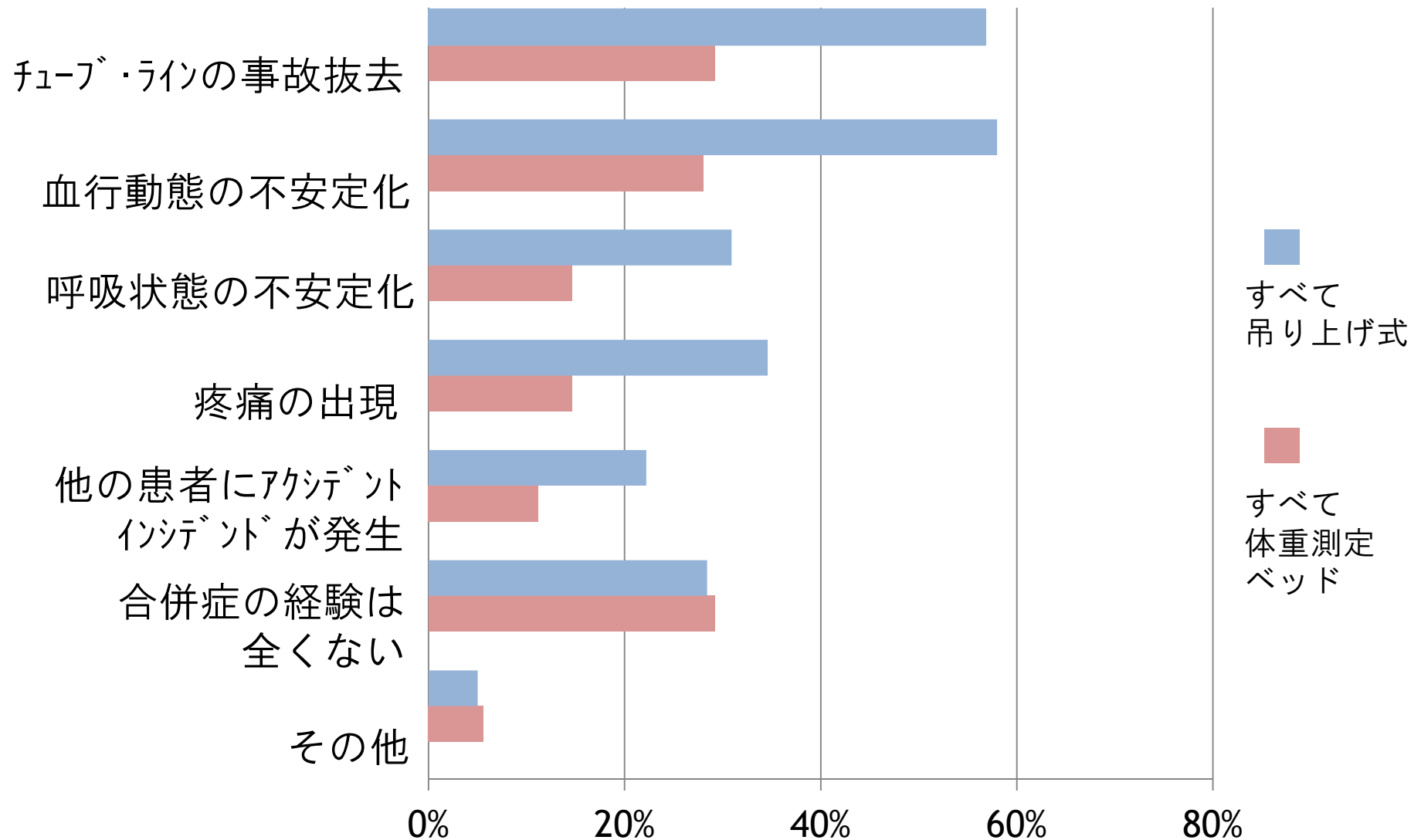
- ✓ 体重計の故障による患者の落下

### 2. 身体の損傷

- ✓ 専用シートによる皮膚損傷
- ✓ 専用の板による裂傷

### 3. 体温管理中の体温変動

# 結果 9 ; 体重測定方法の相違による 合併症の割合



## 結果10；測定方法の相違による 合併症経験の有無

	合併症 経験あり	合併症 経験なし
吊り上げ式 体重計	300	41
体重測定 機能付きベッド	175	39

オッズ比 1.63

95信頼区間1.015-2.619

$\chi^2 = 4.098$   $p = 0.043$

# 考察；体重測定的安全性

---

1. 吊り上げ式体重測定計は合併症が多い
  - － 落下事故などのリスクがある。
2. 体重測定機能付きベッドも安全性が高いとは言えない。
3. 信頼性が高く、患者の回復に寄与する情報として活用されているかは不明。

# 結 語

---

1. 我が国の集中治療室において体重測定は広く行われている
2. 看護師は重篤な合併症を経験し、心理的負担を多く抱えていた。
3. 今後、多施設観察研究を行い、体重測定の安全性と必要性を検討する必要がある。